

# 吹田市ケアネット実務者懇話会

## 退院前カンファレンスチェックシート利用状況アンケート結果報告

### 1 目的

吹田市在宅医療・介護連携推進協議会部会「吹田市ケアネット実務者懇話会」の作業部会である「医療機関と地域連携のルールづくり」作業部会において医療・介護連携関係者等が情報を共有し、切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築を図るため、具体的な連携手段の検討を行ってきた。

今回、連携のツールの一つとして平成30年2月に作成した「退院前カンファレンスチェックシート」に関して活用状況等の評価を行うため、アンケートを実施した。

### 2 対象者、調査方法

○吹田市地域包括支援センター・・・メールにて回答（平成30年12月実施） （以下、「包括」という）	対象者 55人 回答数 55人 回収率 100%
○吹田市内居宅介護支援事業者・・・居宅介護支援事業者部会全体会 （以下、「居宅」という）	（平成30年11月26日）に参加した ケアマネジャーに配布し当日回収。 対象者 48人 回答数 46人 回収率 95.8%
○吹田市内14病院・・・メールにて回答（平成30年12月実施） （以下、「病院」という）	回答数 14病院 回収率 100%

### 3 アンケート結果

(1) 「退院前カンファレンスチェックシート」を知っていますか

	包括			居宅			病院		
知っている	38	人	69.1%	33	人	71.7%	13	人	92.9%
知らない	17	人	30.9%	13	人	28.3%	1	人	7.1%
計	55	人	100.0%	46	人	100.0%	14	人	100%

(2) 「退院前カンファレンスチェックシート」を使用していますか。

※（1で「知っている」に回答した方に）

	包括			居宅			病院		
使用している	8	人	21.1%	15	人	45.5%	4	人	30.8%
使用していない	30	人	78.9%	17	人	51.5%	9	人	69.2%
未記入	0	人	0.0%	1	人	3.0%	0	人	0.0%
計	38	人	100.0%	33	人	100.0%	13	人	100%

(使用していない理由 包括・居宅)

- 退院前カンファレンスがなかった。
- 要支援の人は基本的に、自身で必要情報を伝えられるため。
- 支援経過に記録しているため。
- 使いにくい アセスメント→課題分析→会議録作成
- ケースが少ない。
- 会社で別にされた書類で記録を残す必要があるため。
- 準じた内容のものを使っている。

(使用していない理由 病院)

- 医師や病棟看護師から入院中の経過、状況等の説明をしてもらって質問を受け  
進行しており、特にチェックシートは使っていない。
- 既存のカンファレンス用紙があるため。
- 進め方は自分なりに知っているため。
- 参考にしているが対象者に合わせてその都度レジユメを作成しているため。

(3) 平成30年3月発行の「大阪府入退院支援の手引き」を知っていますか。

	包括		居宅		病院	
知っている	36人	65.5%	29人	63.0%	11人	78.6%
知らない	17人	30.9%	17人	37.0%	3人	21.4%
未記入	2人	3.6%	0人	0.0%	0人	0.0%
計	55人	100.0%	46人	100%	14人	100%

(4) 「大阪府入退院支援の手引き」記載の退院退所情報記録書を知っていますか。

	包括		居宅		病院	
知っている	28人	50.9%	31人	67.4%	11人	78.6%
知らない	27人	49.1%	13人	28.3%	3人	21.4%
未記入	0人	0.0%	2人	4.3%	0人	0.0%
計	55人	100.0%	46人	100%	14人	100%

(5) 「大阪府入退院支援の手引き」記載の退院退所情報記録書を使用していますか。

	包括		居宅		病院	
使用している	0人	0.0%	23人	50.0%	1人	7.1%
使用していない	55人	100.0%	23人	50.0%	12人	85.8%
未記入	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	7.1%
計	55人	100.0%	46人	100%	14人	100%

(6) 「退院前カンファレンスチェックシート」について、項目等ご意見があれば御記入ください。

(包括・居宅)

- 簡易でいいと思う。
- 吹田ケア倶楽部、確認したが、すぐにシートに行きつくことができなかった。
- 確認したいポイント事項あり、わかりやすい。見落とすことなく確認が可能なのでよいと思う。
- 退院手段（家族対応、介護タクシー、ヘルパー対応など）の項目がほしい。
- 在宅の環境、介護力、病気の予後予測等の項目がほしい。
- 病院で情報が把握されていないことが多い。
- 次回カンファレンスに出席する時には使ってみたい。

(病院)

- カンファレンスで話し合われたこれらの項目はカルテの中に記録している。
- カンファレンスシート使用について習慣化されていないのが現状。  
経過や現状説明だけでなく CM や各事業所からの質問には随時対応している。
- 病院で退院時カンファレンスを行う時にもっと積極的に活用するようにしたい。
- 参考程度でカンファレンスの学習としては役立つと思う。
- 「退院時に病院が準備するもの」についての項目がほしい。

#### 4 考察および今後の対応

##### (1) 退院前カンファレンスチェックシートについて

- 認知度は包括・居宅で約70%、病院で90%と高い。一方で、使用状況はやや低かった。使用状況が低い要因として、「様式ダウンロードができなかった」「使用目的を十分理解してもらえていない」「既存の様式が既にある」「加算が算定できない予防プランには使用不要と誤認している」などが挙げられた。
- 特に使用目的として、①チェックシートとして使用し、情報収集漏れを防ぐ、②経験が浅いスタッフでも、カンファレンスに効率的に参加できる、③書き込むことで加算算定にも使える、④活用方法は自由 を理解していただけるように周知することが必要である。
- 帳票周知のため、ケア倶楽部や市ホームページへの掲載を行う。
- 意見のあった追加希望項目に関しては、作業部会で検討を行う。

##### (2) 大阪府退院支援の手引きについて

- 大阪府退院支援の手引きの認知度は、60%を超えている。  
退院退所情報記録書の認知度は50%を超え、使用に関しては、居宅は使われている方も多いが、包括・病院に関してはほとんど使用していない。
- 病院が使用していない要因は、ケアマネジャーが作成することが主のためと考えられる。包括に関しては、予防プランが主であることが考えられる。居宅には浸透しつつある。

○手引きは平成30年3月に発行されたばかりで、引き続き周知が必要である。大阪府共通様式になるので、他市とのやりとりでも通用する点は大きなメリットである。

(3) 今後の各様式の活用について

○退院前カンファレンスチェックシートは、市独自の様式として引き続き周知を図っていく。ただし活用方法は自由であり、使用目的を理解して使用してもらうことに努める。

○大阪府退院支援の手引き内の各様式は、吹田市で使用している様式（利用者情報提供書兼居宅サービス依頼書や退院前カンファレンスチェックシート等）と重複する部分もある。手引きは大阪府共通で使用できるメリットがある。吹田市の様式は、既に浸透してきている。そのためどちらも周知は行っていき、使用しやすい帳票を選択してもらえるようにしていく。

# 退院前カンファレンスチェックシート

様

病院

病棟

年

月

日

司会：MSW／看護師／ケアマネジャーなど適宜

※在宅での生活について最終確認（目安時間は30分程度）

- |  |   |
|--|---|
| <p><input type="checkbox"/> 自己紹介</p> <p><input type="checkbox"/> 1、現在までの経過と治療（病棟主治医又は看護師が説明）</p> <p><input type="checkbox"/> 2、今後の治療方針</p> <p><input type="checkbox"/> 3、入院中の状況、在宅での注意点</p> <p><input type="checkbox"/> ①移動と移乗、入院中のリハビリテーション</p> <p><input type="checkbox"/> ②食事の内容と食事介助の方法</p> <p><input type="checkbox"/> ③排泄状況（自立、一部介助、オムツ等）</p> <p><input type="checkbox"/> ④寝具、体位交換、皮膚トラブルの有無</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤入浴等の状況と頻度</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥睡眠、更衣、口腔ケア、その他</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦認知機能、精神面の状況</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧行っている医療処置<br/>内容：</p> <p>消耗品：</p> <p>操作・手技の習得<br/>(本人： 可 否 ・家族： 可 否)</p> | <p><input type="checkbox"/> ⑨介護指導の内容</p> <p><input type="checkbox"/> ⑩定時薬と屯用薬</p> <p><input type="checkbox"/> 4、在宅へ向けての本人と家族の希望と心配</p> <p><input type="checkbox"/> 5、今後の生活へ向けての課題を検討<br/>(ケアマネジャー)</p> <p><input type="checkbox"/> 6、質疑応答</p> <p><input type="checkbox"/> 7、ケアの調整</p> <p><input type="checkbox"/> ①退院日時、退院後の受診について</p> <p><input type="checkbox"/> ②緊急連絡先や方法<br/>体調が変わった時の緊急連絡先</p> <p><input type="checkbox"/> 8、まとめ（司会）</p> |
|--|---|

## 退院前カンファレンスチェックシートの活用について

- ・このシートは病院から退院後スムーズに在宅生活がスタートできるように次の視点から作成した多職種連携ツールです。
  - ① 病院スタッフから在宅支援スタッフへ必要な情報が漏れなく提供できます。
  - ② 在宅支援スタッフが情報を共有することができます。
- ・このシートをご利用いただく効果は、
  - ① 在宅生活スタートにあたり必要な情報を漏れなく聞く事ができます。
  - ② このシートを使って多職種のカンファレンスがスムーズに進めることができます。
  - ③ 病院スタッフは事前に在宅支援スタッフへ申し送る情報が準備できます。
  - ④ 経験の浅い在宅支援スタッフもこのシートで退院前カンファレンスをイメージできます。

## 病院スタッフの皆様へ

- ・このカンファレンスシートは、在宅介支援スタッフが知りたい情報をまとめたものです。決してこのシートに書き込んでいただくものではありません。このシートの記載項目に沿って情報を提供してください。
- ・またカンファレンスができない場合は、項目を御本人へ確認して退院指導をお願いいたします。

## 在宅支援スタッフの皆様へ

- ・退院前カンファレンスに参加される時、このシートをご活用ください。必ず使わなければならないシートではありません。活用は自由です。
- ・これは退院時、病院から入手する情報漏れがないようにするためのチェックシートであり病院から記入されたものが配布されるわけではありません。

\* このカンファレンスシートが関係職種、皆様の連携のために少しでも役立つ事を願っています。

吹田市ケアネット実務者懇話会  
平成30年2月